美博びっくり箱

集める／伝える／これからも

2018.11.24（土）-2019.1.14（月・祝）

主　　催　岡崎市美術博物館
開館時間　10：00－17：00（入場は16：30まで）
休 館 日　毎週月曜日　※ただし12月24日（月・祝）は開館
　　12月25日（火）／年末年始（12月28日－1月3日）
観 覧 料　一般 500円（450円）／小・中学生 250円（200円）

※（　）内は20名以上の団体料金
※各種障がい者手帳の交付を受けている方及びその介助者1名は無料
※岡崎市内の小中学生は無料（わくわくカードまたは学生証を提示）
※岡崎市内在住の65歳以上の方は無料（住所・年齢がわかる証明書等を提示）
※展覧会限定フリーパス Limi-pass（リミパス）は750円

beyond 2020

岡崎市美術博物館

❶岡崎城下絵図 水野時代　❷ステッセル将軍使用の銀杯（志賀重昂コレクション）　❸二代国輝《末広五十三次 岡崎》（個人蔵）　❹不動明王坐像 円空作（経津主神社）　❺足利尊氏袖判明阿置文（総持寺）
❻装飾須恵器（岩津第1号墳）　❼フランソワ・ペリエ《聖家族の船出》

美博びっくり箱

\集める/ \伝える/
\これからも/

収蔵品を調査・研究し、展示公開することは博物館の使命です。そのためにはまず「集める」こと、そしてそれらを未来に「伝える」ことが重要です。

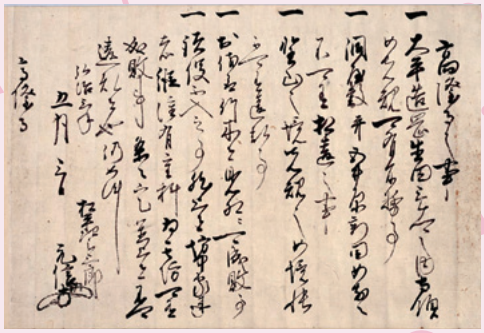
今回の展覧会では専門分野や関心が異なる学芸員が、今まで収集してきた各種の収蔵品の中から各自テーマを決めて厳選したこだわりの逸品を展示します。当館コレクションの多彩な魅力をご紹介し、当館の未来を示す「これからも」を皆様にお伝えします。

七つの箱が開きます!

岡崎城絵図

①

蔵出し!美博秘蔵?の古文書たち



③

祈りの造形

②

浮世絵が描いた矢矧橋

⑤

出土品でたどる岡崎の歴史と交流

④

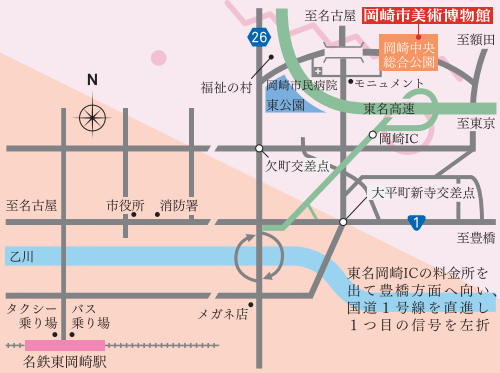
キリスト教美術

⑥

志賀重昂と日露戦争

⑦

①岡崎城絵図 前本多時代
②両界曼荼羅 金剛界（甲山寺）【前期】
③松平元信判物（高隆寺）
④六葉蓮華文軒丸瓦・三重弧文軒平瓦（北野廃寺）
⑤歌川広重《五十三次名所図会 岡崎》（個人蔵）
⑥ヒリス・ドンデクーテル《風景の中のエマオ巡礼》
⑦ロシア兵の革袋（志賀重昂コレクション）
※ 期間中一部展示替えがあります。
前期：11月24日～12月16日
後期：12月18日～1月14日



交通のご案内

バス：名鉄東岡崎駅北口バスのりば②番から「中央総合公園」行きに乗車、「美術博物館」下車徒歩３分
※土日祝日はバスのりば①番「中央総合公園」行の岡崎拠点快速バスもご利用いただけます。
お車：東名高速道路「岡崎インター」から約 10 分

Google Map

岡崎市美術博物館【マインドスケープ・ミュージアム】
〒444-0002 愛知県岡崎市高隆寺町峠1 岡崎中央総合公園内
Tel:0564-28-5000 Fax:0564-28-5005
http://www.city.okazaki.lg.jp/museum/index.html

イベント

講演会

当館コレクションの中から、浮世絵と絵図について、じっくりとお話します。
1日　時／12月1日（土）　午後２時から
　講　師／榊原　悟（当館館長）
　演　題／「浮世絵が描いた矢矧川」
2日　時／1月6日（日）　午後２時から
　講　師／堀江　登志実（当館前副館長）
　演　題／「絵図の魅力」
※1 2とも
　定　員／70名 先着順（当日午後1時30分から整理券配布・開場）
　場　所／当館１階セミナールーム
　その他／聴講無料

ギャラリートーク

毎回２名の学芸員が担当したテーマについて、わかりやすくお話します。
　日　時／12月8日(土)・15日(土)・22日(土)・1月5日(土)・12日(土)
　　全日とも午後２時から（1時間程度）
　担　当／当館学芸員
　参加費／無料（ただし当日の展覧会観覧チケットが必要です。）
　（詳細は当館ホームページ等でご案内します。）